

ゆずりは通信 (vol. 42)



●定例教育委員会での主な審議事項等

★平成 30 年度 第 15 回 (H30. 11. 15)

- ・平成 31 年度兵庫県教職員研修計画の策定に関する件

★平成 30 年度 第 16 回 (H30. 12. 6)

- ・教育長が臨時に代理した職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例制定に係る意見について承認を求める件
- ・兵庫県立高等学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則制定の件

★平成 30 年度 第 17 回 (H30. 12. 20)

- ・平成 31 年度兵庫県立特別支援学校高等部生徒募集定員について

※会議録及び会議資料は、教育委員会ホームページの[教育委員会会議](#)でご覧いただけます。

県教委 TOPICS

●平成 30 年度第 1 回「ゆずりは賞」表彰式を開催

平成 30 年 11 月 20 日 (火)、兵庫県公館において、平成 30 年度第 1 回ゆずりは賞の表彰式を行いました。

「ゆずりは賞」は、県下の学校教育及び社会教育の分野で、多くの人々の模範となるような立派な行為をした者を教育長が表彰し、その功績を讃えるもので、今回は個人 40 名と 6 団体の皆様が受賞されました。

表彰式では、西上教育長から受賞者へ表彰状と記念品が贈られたあと、受賞者を代表して県立伊川谷高校の友野有理さんが、受賞の喜びとこれまで支援いただいた方々への感謝を述べるとともに、今後の活躍を誓いました。



教育長から代表者に表彰状を授与



受賞者代表あいさつ

※受賞者一覧は教育委員会ホームページで
ご覧いただけます。

●第 69 回全国学校給食研究協議大会を開催

11月29日（木）から30日（金）にかけて、食育の推進と学校給食の充実について考える「第69回全国学校給食研究協議大会」が開催されました。全国から小・中学校の校長や栄養教諭など約1,100人が集まり、シンポジウムや分科会で議論を深めました。

学校給食の実施に関し、優秀な成果をあげた学校などに贈られる「学校給食文部科学大臣表彰」の授賞式では、県内から神戸市立なぎさ小学校と稲美町立稲美中学校の2校が受賞しました。玉岡かおる教育委員の特別講演もあり、2日間を通して学校給食関係者の資質の向上を図りました。



学校給食関係研究内容の展示



開会式の様子

●県立社高等学校 バスツアー『加東市の魅力 知りつくしちゃえツアー』

11月10日（土）、県立社高校の生活科学科考案によるバスツアーを実施しました。

このバスツアーは、生活科学科3年生の地方創生班6人が、県立播磨農業高校の農業経営科と連携して取り組んでいる、北播磨地域の活性化に関する課題研究の一環としてバスツアーを計画・実施したものです。これまでの研究の中で、地域経済分析システム（RESAS）やアンケートを用いた調査・分析をしたところ、実際に北播磨地域を訪れてもらうことが重要であると考え、加東市役所や神戸新聞旅行社の協力を得て、バスツアーを実現することができました。

ツアーは、神戸の方を中心とした46名にご参加いただき、出発地である神戸から本校生がツアーガイドとして乗車し、加東市の観光地だけでなく社高校にも立ち寄っていただきました。また、兵庫五国をイメージしたお弁当や、北播磨の特産である山田錦を使用したスイーツを食べていただくなど、「食」を中心に学んでいる社高校生だからこそできるプログラムを実施しました。

生徒たちは、地方創生と向き合ってきて芽生えた北播磨や加東市の良さを参加者に知ってもらえたことや、このプロジェクトのテーマである「加東市から北播磨を元気にしていきたい」という自分たちの思いが伝わったことで、達成感に満ちた様子でした。



魅力的なツアーの内容を考えています



バスに乗って出発！



兵庫五国をイメージしたお弁当

●県立学校が県庁の緑化に取り組んでいます

12月には県立佐用高校の農業科学科の3人が作品を展示してくれました。

農業科学科では、和牛や鶏の飼育と野菜・草花・果樹の栽培を中心に学び、地域連携授業を通して地元の特産品開発や観光資源の保持に貢献しています。

今回は一際目を引く大きなポインセチアなど、学校で栽培した花で県庁2号館のロビーをクリスマスカラーに彩ってくれました。



●教育委員からのメッセージ

村田 泰子 教育委員

今年度、兵庫県下の二つの高校を訪問し、「子どもと社会」というタイトルで講義をさせていただきました。講義では、フランスの歴史家フィリップ・アリエスの著書『<子供>の誕生』を取り上げ、現代とはまったく異なる子どもたちの活動の様子——庶民の子どもは小さいころから大人たちに混じって働き、共同体のなかで社会化される——を紹介したうえで、現代の子どもは保護や教育をしっかり受けられる一方で、いわゆる「勉強」以外の体験をするチャンスが少ないことを話しました。

わたし自身、日々子どもたちを見ていて、学校と塾の往復で気の毒だなと思うことがあります。そんな中、ふとしたきっかけから、近所の小学生がわが家の駐車場に集まって、ベイブレードをして遊ぶようになりました。今日も仕事から帰ったら、すっかり日が落ちて暗くなった駐車場から、元気に「スリー、ツー、ワン、ゴー、シュート！」と遊ぶ声が聞こえてきました。学校でも家庭でも学べないことを、集団のなかで学んで欲しいと願っています。



今後のイベント情報

★美術館・博物館等の催し案内

施設名	主な催しもの	期間
県立美術館	特別展 <u>Oh! マツリ☆ゴト</u> <u>昭和・平成のヒーロー&ピーポー</u>	H31. 1. 12(土) ~ H31. 3. 17(日)
県立人と自然の博物館	県政150周年記念事業展示特別企画 <u>ひょうご五国の自然展</u>	H30. 10. 6(土) ~ H31. 1. 6(日)
県立歴史博物館	特別展 <u>姫路 今むかし partⅢ</u>	H31. 1. 26(土) ~ H31. 3. 24(日)
県立考古博物館	企画展 <u>ひょうごの遺跡2019</u> <u>—調査研究速報—</u>	H31. 1. 19(土) ~ H31. 3. 24(日)
県立考古博物館加西分館 「古代鏡展示館」	秋季企画展 <u>唐建国1,400年</u> <u>唐王朝の彩り</u> <u>宮廷の栄華をうつす金銀銅</u>	H30. 9. 14(金) ~ H31. 3. 12(火)
兵庫陶芸美術館	特別展 <u>やきものを分析する—装飾編—</u>	H30. 12. 22(土) ~ H31. 2. 24(日)
横尾忠則現代美術館	<u>横尾忠則 大公開制作劇場</u> <u>～本日、美術館で事件を起こす</u>	H31. 1. 26(土) ~ H31. 5. 6(月)